

鈴鹿市観光振興方針（改定版）（案）に対する意見公募における意見・対応一覧表

No	ページ数	意見	対応	修正の有無
1	0	<p>前回の観光振興方針パブコメの際に意見したが、方針案の検討にあたってRESASの活用は行ったのか、行わなかったのであれば、その理由を教えてください。</p>	<p>RESASは活用していませんが、本市並びに県の独自調査結果を反映しています。今後の課題として、ビッグデータを活用したマーケティング戦略を個別の取組の中で検討していきます。</p>	修正対応なし
2	P5	<p>成果指標について、前方針の成果指標から変えているのであれば、内容についてもっと精査すべきではないか。3Pの新たに加えた視点が活かされているようには思えない。</p> <p>① モータースポーツについて … 指標の中に「SUZUKA10H」を入れていないのはなぜか。7Pで記述されているのにおかしい。前回指標から変更しているの、組み入れてもよいはずではないか。</p> <p>② インバウンドについて … 指標がFree WiFi-MIEの設置数であるが、この指標では観光誘客に関係性が薄い。指標を「外国人向け市内ツアー数」にして、市内コンテンツ活用の方向にすべきではないか。</p> <p>③ 広域観光について … HP閲覧数に指標を変更するのであれば、なぜ観光三重が指標に入らないのか、観光三重も算入すべきと考える。。</p> <p>④ 産業観光について … 見学者数を指標にしているが、そもそも見学者を受け入れている企業数が記述されておらず、一件当たりの数を増やすのかどうかの考えが不透明になるので、受け入れ企業数を追記すべき。</p>	<p>①10Hについては、レース創設後2年の新しいレースであり、指標数値としては採用しませんでした。F1、8耐、モータースポーツファン感謝デーを本方針の成果指標とし、総合計画2023における成果指標との整合を図っています。</p> <p>②インバウンドにおいては国内同様、個人旅行の割合が増えてきています。また、外国人向け市内ツアー数の把握は困難であることなども踏まえ、観光庁調査による、外国人観光客が望むWiFi環境整備に着目し、かつ、三重県が取り組んでいるFree WiFi-MIEでは自治体別設置数が把握できることから指標として設定しました。</p> <p>③観光三重は三重県全体の観光情報を掲載しており、伊勢志摩方面の情報及び閲覧数が多い状況です。本市を含む広域観光として周遊してもらうためには、三重県北勢地域の情報をより深く詳細に提供することが必要と考え、「北伊勢」のHP閲覧数を指標として設定しました。</p> <p>④目標としては、1企業あたりの人数を増やすことだけでなく、新たな企業を発掘していくことが必要と考えています。現状値の根拠として、欄外に2018年の受け入れ企業数を記載します。</p>	<p>修正対応あり</p> <p>④2018受け入れ企業数の追記します。</p>
3	P5	<p>成果指標について、成果指標と戦略での取り組みとの関係が分かりにくいので、15P～28Pの第3章鈴鹿ブランディング戦略において、それぞれの部分で記載すべき。</p>	<p>成果指標は、各方針の取組全体の進捗を数値的に把握するものです。今回は2016年に策定した方針の見直しで、施策の方向性に大幅な転換が生じていないことから現行のとおりとしました。</p>	修正対応なし
4	P7	<p>モータースポーツによる観光誘客の現状と課題認識について 両ページともに、鈴鹿サーキットで行われるレースやイベントのうち、ほんの少しのことしか取り上げられていない。ツインサーキットなども含めて取り上げるべきではないか。現状の中にも、多くのモータースポーツイベントを活用できていないことが反映されていない。</p> <p>また、新たに加えた視点において「ウェブを活用した効果的なプロモーション」があるが、現状では有効に活用されていないことが記述されていない。</p> <p>鈴鹿サーキットのモータースポーツ一覧表を鈴鹿市で作成して、振興方針に反映すべきと考える。</p> <p>現状の部分で、このようなことが取り上げられていないため、課題設定が不十分と考える。 つまり、大きなレースだけでなく、サーキットを利用したモータースポーツイベントに参加している人々に対して、鈴鹿市として訴求するものが少ないという課題が見えなくなっていると考え。</p> <p>以上のようなことについて検討が不十分と考え、全体の内容について抜本的に見直しと変更をすべきと考える。</p>	<p>モータースポーツについては、鈴鹿サーキットで開催されているレースイベントだけでなく、関連する他の場所でのイベントを含め、モータースポーツの振興と考えています。</p> <p>今後は、情報誌やSNSを積極的に活用し、他地域で行っているレースやイベントへの参加者に対して、本市に来ていただけるよう、情報発信をしていきます。</p> <p>また、効率よく効果的な本市の観光PRを行うべく、主として集客の多いモータースポーツイベントにおいて観光PRを引き続き取り組んでいきます。</p> <p>新たに加えた視点である「ウェブを活用した効果的なプロモーション」については、P9の課題に記載します。</p>	<p>修正対応あり</p> <p>課題に「より一層ウェブを活用して、」と追記します。</p>
5	P8～9	<p>インバウンドに向けた観光誘客の現状と課題について 現状について ① モノからコトへと変化している外国人観光客という認識が見られない。前回の方針策定時よりも明らかに変化しているところではないか。その部分の記述をすべき。 ② そもそも、鈴鹿市が想定するインバウンド観光客のイメージがわからない ③ また、一部地域ではオーバーツーリズムの課題も出てきている。そのことにも触れる部分があるべきと考える。 ④ 資料としてグラフで提示されている情報がいくつかあるが、鈴鹿市の観光に関連するものはひとつしかない。資料については、鈴鹿市のデータにすべき。 ⑤ 「課題」について、前回時よりも後退している内容に読み取れる。課題は前回時のままでよいと考える。 前回内容：「訪日外国人にとって魅力あるコンテンツと情報提供の不足や、インバウンドによる経済効果をいかに本市にまで波及させるかとともに、インバウンド受け入れ先としては、語学力を持つ人材や宿泊施設など、受け入れ態勢の不備や個人旅行者への対応充実も課題となっています。」 特に下線部は、現在も改善されているとは言えず、明確に記述しておくべきである。</p>	<p>①外国人観光客のモノからコトへのニーズの変化については、現状と課題のP20に体験型のコンテンツのPRについて触れています。</p> <p>②主に、モータースポーツイベントへの外国人旅行者を想定しています。</p> <p>③一部地域でオーバーツーリズムが課題となっていることは認識していますが、本市の現状としてはさらなる誘客が課題です。インバウンド対策は本市の課題であり、かつ国全体の大きな課題と考えることから、観光庁が示す全体的数値、県が示す市町別データを定量的データとして掲載しています。</p> <p>④本市のデータとして掲載できるものは掲載したいと考えています。国の方針として観光庁がインバウンド対策にかかる目標を掲げており、それに合わせた社会情勢の変化が生じるものとして国や県の情報を掲載しています。</p> <p>⑤国や県がインバウンド対策に注力している社会情勢を踏まえ、インバウンド需要の高まりへの対応を課題として記載します。</p>	修正対応なし

No	ページ数	意見	対応	修正の有無
6	8~9	<p>インバウンドに向けた観光誘客 課題に関する意見</p> <p>白子地域は、伊勢参宮街道沿いにあり、様々な歴史・文化が今も息づいており、世界に誇る伝統工芸である伊勢型紙や、鈴鹿墨を産している。ここにより目を向けると、「静」・「動」の両面を取り入れた「公・宗・民 協創」により、まち起こしを推進する手法を採用することが必要である。</p> <p>また、まち起こし事業の中の「静」部分のための重要な施策として、歴史・文化と触れ合える拠点の建設が訪問者のために必要です。</p> <p>これらを推進するために、「公」（市役所）が協創へ参入して行動することも必要であり、この行動の決意を方針（案）に明記してほしい。</p>	<p>本市の伝統産業である「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」は歴史のある地域資源であることから、これらを活用した観光施策を講じます。また、既存施設の魅力化を推進することで一層の観光誘客を図ります。このことについては、20ページ、26ページの「具体的な取組項目と将来構想」の部分に記載しています。</p>	<p>修正対応あり</p> <p>P26 「外国人をターゲットとする観光ルートの形成」の項目に、「観光事業者や関係団体との協働により」下線を追記します。</p>
7	P8,P19	<p>成果指標がWi-Fiの設置数になっていますが、インバウンドの方は観光地を選ぶときにWi-Fiが設置してあるかどうかを重視しているのでしょうか？</p> <p>成果指標にした理由と根拠をデータとともに教えていただきたいです。</p> <p>また、Wi-Fiの設置数が49ヵ所になると具体的にどのくらいのインバウンドの増加が見込めるのでしょうか？</p>	<p>観光庁の調査において、外国人観光客がWi-Fi環境の整備を望んでいるとの結果が出ていることから、三重県が取り組んでいるFree Wi-Fi-MIEの設置数を指標としています。</p> <p>設置数の増加によるインバウンドの具体的な増加数の見込みを立てることはできませんが、観光客の「あればいいのに」という思いをかなえていくことで満足度が向上し、観光誘客に繋げていくことができると考えています。</p>	<p>修正対応なし</p>
8	P10	<p>広域観光による誘客について</p> <p>①「新名神開通による高速道路網を利用した広域観光」に関して記述がないので、記述すべきと考える。</p> <p>② 昇龍道プロジェクトに触れられていないのはなぜか。</p>	<p>①P22の「高速道路を生かした広域観光の推進」の中には記載しています。</p> <p>②昇龍道プロジェクトは2011年に策定されたものであり、協議会会員には加入していませんが、事業者とともにプロジェクト会議に参加しています。本方針には、毎年公表されている昇龍道プロジェクトの活動方針については参考としています。</p>	<p>修正対応なし</p>
9	P10,P25	<p>成果指標が閲覧数になっていますが、具体的に今と比較してどのようなところを変えていくのでしょうか。投稿を今の頻度より増やしたり、インフルエンサーを利用したりするなど何か策はあるのでしょうか？</p> <p>また、伝統産業は素晴らしいものであることはわかるのですが、現状で国民への浸透は薄いです。今までとは違う産業の発信の仕方などあるのでしょうか？</p>	<p>F1日本グランプリ地域活性化協議会のHPやツイッター、「北伊勢広域観光推進協議会」のHPは、市担当者により掲載が可能であり、積極的に掲載していくことで閲覧数の増加につなげていきます。</p> <p>悠久の歴史ある伝統産業を、外国人観光客も含めて来訪者に伝えていくとともに、滞在型、体験型のニーズに合即した新たな観光コンテンツの整備も進めていきます。</p>	<p>修正対応なし</p>
10	P12	<p>スマートインターからの観光誘客について</p> <p>①現状は書かれているが、「課題」について触れられていないのはなぜか。どのように活用するのかなどについて、観光資源との関係からどうあるべきかなどは導き出せると考えるので、課題についても記述すべき。</p>	<p>①課題については、P12に記載していますが、より踏み込んだ内容を掲載します。</p>	<p>修正対応あり</p> <p>「鈴鹿PAスマートICを基点とした本市への観光客を増加させるためのコンテンツの創出や情報発信が課題となっています。」に修正します。</p>
11	P11	<p>西部地域をはじめとする周辺地域の活性化について。</p> <p>新土地需要エリアにおけるアクセス道路沿いの周辺地域の開発が不可欠であると思われる。</p> <p>調整区域及び車輛交通量の問題もありますが、活性化するには必要に応じ開発による関連施設設置が急務である。</p>	<p>土地利用の活性化は、観光面においても大いに期待されていますが、本方針では、観光振興における大きな方向性を示すことを主として記載していますので、開発行為等の事業展開については記載しておりません。</p>	<p>修正対応なし</p>
12	P13	<p>産業観光による誘客について</p> <p>① 課題の部分に、「産業観光資源を連携した観光ルートの創出」を追記してはどうか。</p>	<p>①市内周遊ルートの取組としては、課題として認識しています。</p>	<p>修正対応なし</p>
13	P13	<p>○産業観光による誘客</p> <p>新たな産業観光となり得る素材の発掘と整備について。</p> <p>地域資源を活用した名産品や生産した製品は県内各地で多く見られますが、他市と比べ差別化出来る様なオンリーワンの発掘・開発が重要なのではないかと。特に西部地域においては鈴鹿連峰（セブンマウンテン）をバックに広大な自然の大パノラマが展開しております。</p> <p>この天然資源を活用した地域に自然公園・物販・飲食店の設置、新たな資源の開発として温泉施設を建設し、老若男女すべての人の交流の場の提供、特に高齢者の健康増進・癒しに最適であると思われる。</p> <p>これらを融合する事により他地域との連携・広域観光の推進になるのではないかと。</p>	<p>地域資源を活用した新商品の開発や販路開拓を進めます。</p> <p>また、新たな産業観光となり得る素材の発掘と整備の作業が課題と認識しています。</p>	<p>修正対応なし</p>
14	P14	<p>スポーツツーリズムによる誘客について</p> <p>①現状について、後段4行「2021～ 取り組んでいます。」の部分は不要ではないか。</p> <p>②①で指摘した部分を削った分、「鈴鹿サーキットでの自転車レース」などを追記してはどうか。</p> <p>③ スポーツツーリズムについて、課題の部分でイベントでの集客・交流人口の増だけ触れられているが、この部分で「ジュニアスポーツや部活動での他地域との交流支援、市民が主催する大会への集客と交流の支援、合宿などの積極的誘致」を記述すべき。</p> <p>④「課題」の部分で、③のことも含めることで、「いかに集客と交流人口の増加」という部分の親和性が高くなると考える。</p>	<p>①②本市としての取組を掲載しています。鈴鹿サーキットでの自転車レースのみならず、他のスポーツ施設で開催されるイベントも含め、機会をとらえて観光PRを行っていきます。</p> <p>③本方針は、あくまで観光誘客のための取組を掲載しています。スポーツイベントの集客、交流は誘客の手段として考えています。</p> <p>④「いかに集客と交流人口の増加」の「集客」は観光誘客のことであり、「観光誘客」に修正します。</p>	<p>修正対応あり</p> <p>④「集客」を「観光誘客」に修正します。</p>
15	P15以降	<p>①「第3章鈴鹿ブランディング戦略」全般について、なぜ前期の方針と体裁を変えているのか。</p> <p>② 変えるのであれば以下のように整理しなおせばよい。戦略とされているが、非常にあいまいな記述に読めるため、章の中での構成を以下のように、「6つの柱」→「取組」→「成果指標」→「取組項目と将来構想」のようにはすべきではないか。</p> <p>このような構成になっていないため、第3章の構成全体が抽象的な表現にとどまっていると考える。</p> <p>説明文についても、既に分かっていることは書き込まず、要点を簡潔にまとめるべき。</p> <p>※パブリックコメントへの回答の際、文字だけで表現せず、この部分については、画像を併記して頂きたい。</p>	<p>①構成自体は変えていないが、見やすくなるよう、色付けを変更しました。</p> <p>②今回は2016年に策定した方針の見直しであり、大きな構成の変更は考えていません。</p>	<p>修正対応なし</p>

No	ページ数	意見	対応	修正の有無
16	P15	「鈴鹿のモータースポーツに関する情報の市内外への発信」について、2段落目の部分に、WebとSNSが追記されているが、テレビや雑誌などの既存メディアには触れられていない。目的を達成することを考えれば、この部分の記述は必要。	これまでも鈴鹿市市政記者クラブ加盟社への資料提供は行っており、新たに自主的な取組として、SNSの活用を掲載しています。テレビや雑誌、新聞などの既存メディアについても、取り上げてもらえるよう、イベント内容、情報提供の時期を見極め、引き続き積極的に取り組んでいきます。	修正対応あり 「このことから、テレビや雑誌、新聞等の既存メディアへの積極的な情報提供に加え、」下線部を追記します。
17	P17	「F1グランプリなどビックイベント開催時・・・」の部分について、2段落目の最終行、前期計画では『「環境整備」や「おもてなし」の向上をより進めます。』としていたのが、方針案では『「環境整備」や「おもてなし」の向上を図ります。』と後退した表現に読めるように変更したのはなぜか。「おもてなし」意識のせい弱さは、ふれあいホールでの講演で指摘されていたはずである。	強化に努めるよう表現を修正します。	修正対応あり 「モータースポーツによる誘客を進めていく上で、F1日本GP以外のレースにおいて、より多くの観光客が本市を訪れる場合でも同協議会の取組を通じたノウハウの蓄積を生かし、「環境整備」や「おもてなし」の強化に努めていきます。」に修正します。
18	P18	前期に対して追加されている「2019（令和元）年には、～」からはじまる8行について、実施した取り組みを書いているだけであって、それらを継続するかどうかかわからない表現になっている。記述を整理すべき。	「今後も引き続き実施していく」という表現に修正します。	修正対応あり 「また、モータースポーツ都市宣言10周年を迎えた2014（平成26）年からは、市民を対象として「初心者のためのモータースポーツおもしろ体験・講座」を通年で開講しており、今後も、座学やファクトリー見学など、初心者でもモータースポーツに親しみをもちて機会を提供していきます。さらに、2019（令和元）年には、F1日本GP地元前夜祭の盛り上げのための市内ショッピングセンターでのF1マシンの展示や、鈴鹿と・き・め・きモータースポーツ大使であるモトクロスライダーの小島庸平選手による小学校出前授業を実施しており、今後も引き続き、モータースポーツを盛り上げていく取り組みを実施していきます。」に修正します。
19	P19	「国外への本市の観光情報発信力の強化」について ①ウェブの活用の論点部分で、「国内、海外のインフルエンサーへの働きかけ」を追加すべきではないか。 ②「留学生を多数受け入れている鈴鹿大学」の部分について、否定はしないが、学生の層などの把握と、その観点を取り入れるべきでは。 「外国人観光客の受け入れ態勢の整備」について ③「インバウンド客に魅力のある宿泊施設の検討」を追記すべきではないか。	①インフルエンサーへの働きかけも含めて、ウェブの活用と表記しています。 ②留学生の層等の傾向も踏まえ、情報発信に利用していきます。 ③宿泊施設は、特に大きなモータースポーツイベントでは不足している現状であり、インバウンドだけをターゲットとした宿泊施設の検討ではなく、P22に「宿泊施設の不足を解消に努めます」と記載しています。	修正対応なし
20	P20	「モータースポーツを切り口とした～」について ①現在の動向を考えれば、「インドネシアやタイなどの東南アジア」を明確に記述すべきではないか。 「市内外国人との連携～」について ②前期から「多文化共生を観光資源化」の視点を削ったのはなぜか 「外国人観光客をターゲット～」について ③「歴史と文化」を視点とした表現も追記すべきでは。	①レースによって、対象国や地域は変わるため、東南アジアを含めた「アジア」と表記しています。 ②在日の外国人への多文化共生を含めた、観光及びインバウンドに取り組んでいくため、修正しました。 ③歴史や文化を背景に持つ観光コンテンツとして具体的に「鈴鹿墨」や「伊勢型紙」を記載している。歴史ある伝統産業である旨記載します。	修正対応あり 「伊勢型紙や鈴鹿墨といった悠久の歴史ある伝統産業のほか」下線部を追加します。
21	P21	「各市町による広域連携体制の整備と継続的な推進」について ①「伊勢型紙および鈴鹿墨について、江戸小紋、甲州印伝、美濃和紙などの産地間連携や、文房四宝の産地間連携を活かす。」という視点が必要ではないか。	①伊勢型紙においては関係産地間、鈴鹿墨においても、文房四宝を始めとする産地間連携をおこなっていくことから、その内容を追記します。	修正対応あり 「あわせて伝統産業においては、更なる産地間連携を図ることにより複合的な魅力の創出、発信を行い、引き続き活性化に取り組めます。」と修正します。
22	P23	「スマートIC周辺の観光施設との連携」について ①2行目「生かし」は、「活かし」のほうがいいのではないか。	①総合計画2023との整合性を図るため、全てを「生かし」で統一しています。	修正対応あり P27インフォメーションの「活かし」を「生かし」に修正します。
23	P24	「スマートIC周辺地域を中心とした～」について ①1行目から2行目にかけて、「スポーツ施設」も観光資源に追加すべき。 「スマートICを玄関口とした～」について ②「いなべ市」まで視野に入れるべき。	①新名神高速道路のスマートIC周辺(東名阪自動車道より西)の観光資源を記載しているため、「スポーツ施設」の追記はいたしません。 ②隣接市町以外でいなべ市だけ取り出すのも不自然であり、追記はいたしません。	修正対応なし
24	P25	「テーマ型観光による地域産業の六次産業化」について ①最下部のICTの説明を、「六次産業化」の説明にイメージ図も含めて変更すべき。	①Cは「Communication」であり、SNSをはじめ通信技術を通じて双方向のつながりを醸成する重要性は益々高まっています。六次産業化の取組について、より分かりやすくするよう文中を修正いたします。	修正対応あり P25 最後の行 「・・・互いの強みを生かし二体化することにより、可能性と付加価値を高めていく六次産業化を目指します。」下線部を修正します。

No	ページ数	意見	対応	修正の有無
25	P26	<p>「ウェブを効果的に～」について</p> <p>① 最下部に「すすか新商品創造プロジェクト」の記述があるが説明がない。鈴鹿ブランドの説明ではなく、「すすか新商品創造プロジェクト」の説明に差し替えるべき。</p> <p>「外国人をターゲットにした～」について</p> <p>② 前期と全く変わっていないが、であれば、実績を記述しておくべき。</p>	<p>①インフォメーションでの説明はないが、本文中「併せて、将来的に・・・」以降で説明しているので、差し替えはいたしません。</p> <p>②本方針の計画期間は2016年～2023年であり、見直し前の方針が前期という位置づけではなく、一貫して取り組むものと認識しています。取り組んできたことについては、P13の現状に記載しています。</p>	修正対応なし
26	P27	<p>「スポーツを通じた地域観光振興と、～雇用の創出にも寄与するものです。」の部分について、前期計画から後ろから3行、「その効果を実現させるため、～称しています。」を削除した理由はなにか？</p>	<p>本方針は、あくまで観光の振興であり、ご指摘箇所はスポーツ振興の内容となるため、削除しました。</p>	修正対応なし
27	全体	<p>日本人観光客よりもインバウンドをターゲットとしているように感じたのですが、そのあたりどう考えているのでしょうか？</p> <p>また、インバウンドと日本人観光客双方へのアプローチは同じようにしていくのでしょうか？違っている部分が多いのではないかと考えているので同じアプローチの仕方でのいいのか疑問です。</p>	<p>日本人観光客に対する誘客は重要で、本方針の基本です。しかしながら、国内における人口減少に加え、急増しているインバウンド需要に対応するよう、観光施策を強化していく必要があることから、「インバウンドによる観光誘客」を柱の一つに掲げています。日本人観光客についてもモータースポーツやその他の観光資源のアプローチは引き続き行っていきます。手法は、観光客に応じた対応をしていきたいと考えています。</p>	修正対応なし